

目的・目標

短編アニメーション分野の作家に対し、国際的評価やマーケットへ進出する技能習得の訓練プログラムとネットワークの機会を提供。同時に、持続的に海外発信をするため国内の主要コミュニティや映画祭をつなぎ活性化させ、ウェブサイト等での海外発信体制を整備するなど、新たなロールモデルを構築し、恒常的に国際的アーティストが活躍する環境を整備する。

概要

唯一無二な世界観を持つ日本の短編アニメーション作品は他国から評価を得ており、世界的プレゼンスを勝ち取る可能性を秘めているが、監督として必要な「企画を作る/脚本を立てる力」「英語でのコミュニケーション力」が不足しており、大学等教育機関を卒業後にキャリアを継続できない作家が多い。本プログラムでは、海外プロダクションとの共同開発・ネットワーキングなどを通じて作家のスキル習得の訓練プログラムを実施する。

(分野・ジャンル)

メディア芸術(短編アニメーション)

(渡航先の国・地域)

・欧州・北米・東アジアの主要映画祭 等

(国内外の連携・協力体制)

・世界の主要アニメーション映画祭やコミュニティとのネットワーク

3年目までの取組

- ・新作アイデアの構築と発表(ピッチ)トレーニング
- ・海外専門家による専門知のレクチャーおよび個別アドバイス
- ・海外プロダクションとの分業による訓練
- ・海外映画祭での積極的なコミュニティ参加・上映会・新作ピッチ・ネットワーキング
- ・海外の主要都市(パリ、モントリオール等)でのネットワーキング
- ・海外映画祭で入選した国内作家への渡航費の補助



5年目までの取組

国内で活動している短編アニメーション作家を紹介する海外向けカタログウェブサイト構築し、持続的な海外進出を促進する。育成対象者だけでなく、日本の短編作家全般を紹介することで、海外の映画祭関係者からの注目を集め、コンタクトを取りやすくする。上映プログラム案の提示や、歴史やテーマに関するエッセイも期待できるほか、若手ジャーナリスト、批評家も育てる環境の構築。



メディア芸術クリエイター育成支援事業の様子

| 成果目標(見込) | 目標値 |
|--------------------------------------|--------|
| 企画段階から海外公演等までに登用される若手クリエイター等の数 | 12人 |
| 国内外の団体・企業等との連携数(連携団体数、事業提携数、拠点形成数など) | 20件 |
| プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数 | 20人 |
| 国内外で展開される公演・展示等の数 | 20回 |
| 国内外で展開される公演・展示等の入場者数 | 4,000人 |

中核となるクリエイターやアドバイザー

土居伸彰(本プログラムプロデューサー)

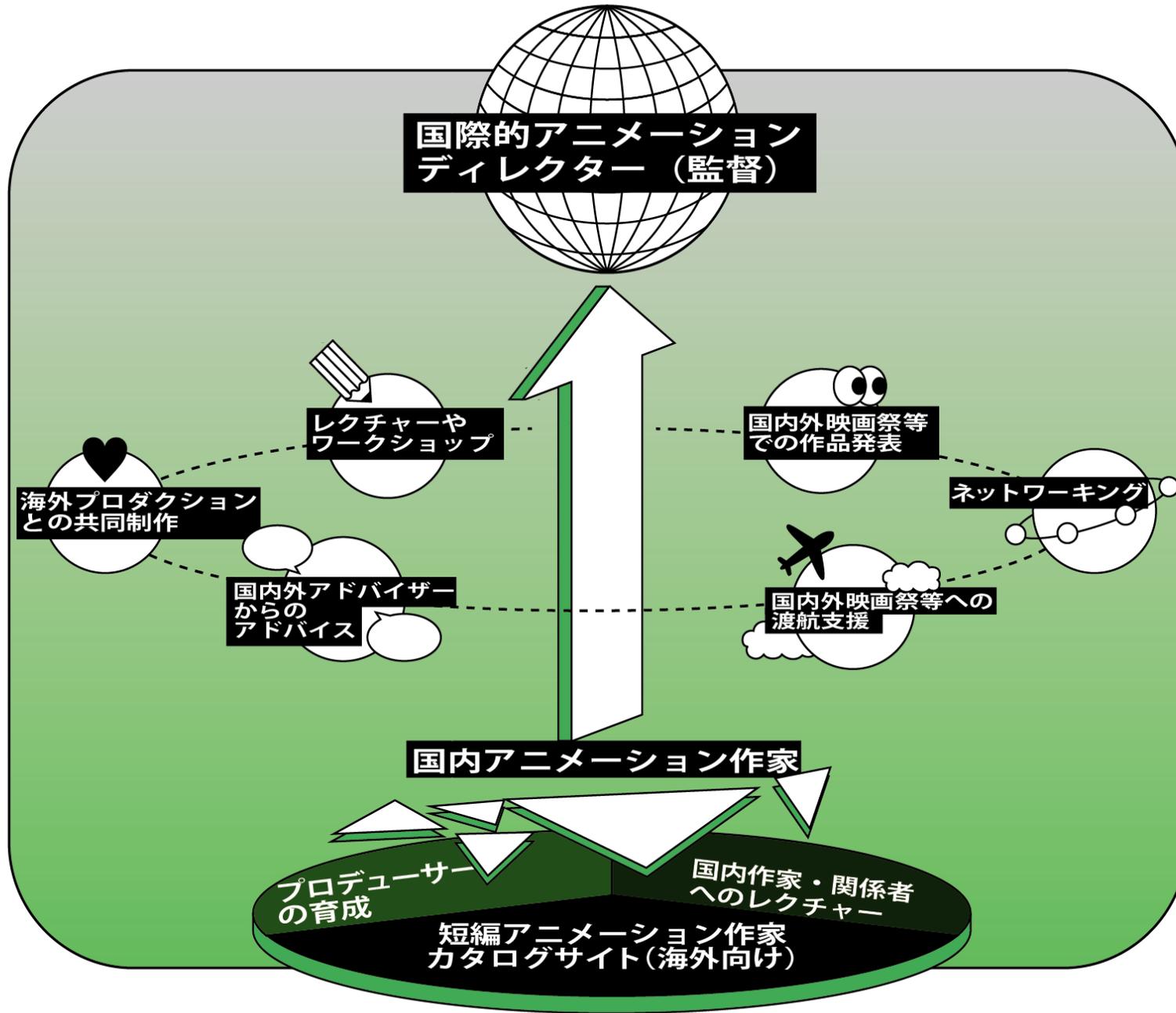
ひろしまアニメーションシーズンプロデューサー。非商業・インディペンデント作家の研究を行うかたわら、作家との共同での活動や上映イベントの企画、執筆を通じて世界のアニメーション作品を広く紹介する活動に精力的に関わる。2015年にニューディアーを設立し海外作品の配給をスタート。国内外の映画祭での審査員・キュレーション・国際共同制作作品のプロデュース等、多数。



育成対象者: 12人

初年度はすでに海外から評価の高い作家の魅力をより広く発信する「推薦枠」(2~3名)と、自主的に海外進出を強く意識した作家を募る「公募枠」より、選考委員会による審査を経て選定。2年目以降は公募枠から毎年2~3名を選出する。

【補足資料1】



【補足資料2】

